



そばの作り方をそば打ち協力者の皆さんに指導され、今まで以上においしい手打ちそばを作ることができます。

会食に招待される方は、今年から80歳以上の高齢者になります。また、招待者たちはこの日を楽しみにさ

れていました。午前11時頃から65名が会場に集まり、楽しそうな会話が今まで以上にありました。熱々のおいしいそばに舌鼓をうながら食べていました。

会食後、笠間市交通安全母の会による交通安全の注意を聽きました。交通事故の多くは高齢者であることを話されました。

アトラクションでは「アロハ・マイ」によるウクレレ演奏でした。「旅愁」「浜千鳥」など懐かしい曲の演奏のときは、若いころを思い出しました。

頂いたおそばは上出来で玄人はだし、お汁の具は柔らかく味つけは優しくて心まで暖かくなりました。食後の交通安全の講話からは、道路を横断する時は両眼とおへそで両側をよく見る事を心に誓いました。

また、十人ものメンバーがお揃いの衣装をまとい、ウクレレを演奏しながらハワイアンを唱い踊つて下さった事に圧倒されました。

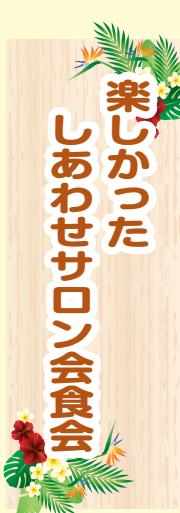
本当にありがとうございました。



発行者  
笠間市社協中央支部  
編集  
中央支部広報委員会  
印刷  
(有)シーエス

笠間市社会福祉協議会  
中央支部の恒例の「しあわせサロン」、手打ちそば会食会が12月15日地域福祉センターで開催されました。

支部役員で前日、常陸秋そばを16キロ購入し、つなぎ5キロ、打ち粉4キロを混ぜて150人分を準備し、当日はそば打ち協力者・民生委員・女性部・ボランティアの皆さん40人余りが、早朝から準備され、けんちんそばを作りました。そば打ちの講師は菅谷豊氏で、前日の常陸秋そば・つなぎの配合や当日の手打ち





フラッグガーランド作り

事業所・笠間市障害者福祉センターともべ「たけのこ」と中央支部の交流会が行われました。毎年行われている行事で、今年は中央支部から10名が参加し、「たけのこ」利用者14名と指導員4名でクリスマスの飾り付け「フラッグガーランド」を作成しました。

作業は各ペアに分かれ、あらかじめ指導員が用意してくれた色の違う三角形の生地にさまざまな星の形をしたスパンコールに色付けをし、ボンドで貼り付けたり、型どりしてペイントしたりしました。最後はフラッグにひもを通して5連のガーランドが完成。時間が経つのも忘れる程、楽しく会話をしながら思い思いの作品を仕上げる事ができました。

完成後は、さらに楽しみにしていたお弁当の時間です。みんなで食べるお弁当は一味違うおいしさでした。

今回制作した作品は、それぞれ自宅へ持ち帰りました。

今後も障がい者への理解を深めるため交流を続けて行きたいです。

11月22日（金）に、就労支援B型

藤枝 正一

## 「たけのこ」との交流会



令和元年12月8日（日）区内在住の方を対象に三世代交流餅つき大会を開催いたしました。当日は好天に恵まれて笠間山口市長、社協中央支部入江支部長、藤枝様、高田様にご来場いただき山口市長、入江支部長様からご挨拶をいただきました。

前日から餅つき用の白や杵又野菜等々の準備をして、当日は朝早くからお湯沸かし、餅米蒸し、餅つき等々を出席者全員で協力して作業を進行しました。餅つきは昔ながらの臼と杵を使っての作業だったので、出席した子供達も杵で餅をついたり、又つき上がった餅を小さく丸めて餡こ餅、きな粉餅等を楽しそうに作っていました。出席された皆さんは日頃会話をする機会が少ないにもかかわらず、当日は和やかな雰囲気で、立話あるいは作業をしながら樂

しそうに談笑していました。又寒い時期なので、餅が出来る迄の間、身体が温まる様に甘酒を用意しました。皆様に好評で喜んで飲んでいたいただきました。餅つき終了後は皆さんで楽しい会食。青空の下で輪になり自分達で協力して作った餅を楽しく美味しそうに食していました。

又、当日は自主防災訓練の日である為、出席者全員でバケツリレーによる初期消火訓練を実施しました。火災発生時の初期消火の重要さ、又災害発生時に於ける情報収集や避難準備等々を早めくに心掛け、避難遅れゼロを目指す事も皆さんで共有する事が出来ました。

最後になりましたが、ご来場いただいた皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

平成から令和へ新しい時代を迎えた年に、支部長に就任しまして早いもので一年になります。

当時は、再任・新任の支部役員がおりましたが、当初から快くご協力をいただき気持ち新たに支部活動をスタートすることが出来ました。

また昨年は台風や大雨により各地で大きな自然災害が発生しました。今年は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されますので穏やかな年であつてほしいと願いました。

今年は5月24日と31日に、80歳以上の方を対象に「しあわせサロン事業」として、栃木市の蔵の街を散策しました。山車会館では見事な彫刻と金糸銀糸の刺繍をほどこした山車の展示に感動。更に栃木の歴史の中心で幕末期から昭和初期に栄えた問屋町であり、北関東の商都と呼ばれた栃木市を支えた巴波川べりを散策。今も旧家の蔵や材木問屋が残り、かつての華やかさを偲ぶことが出来ました。

10月19日には福祉バザーが開催され、小雨が降る中のスタートで客足が心配されました。行列ができるなど予想以上の人口となり、各売り場も客足が途切れることなく盛況でした。

皆さんには、コンディションが悪い中それぞれの持ち場で頑張っていました。バザーにご協力いただいた多くの皆様に感謝いたしております。

## 青葉町二世代交流餅つき大会

区長 廣澤 守

## 一年を振り返って

中央支部長 入江 廣

す。

11月6日には、例年のバスによる女性部交流会ではなく、地域福祉センターともべにおいて「みんなでお話ししましょう」をテーマに女性部交流会を開催。4人の各グループが「現在の女性部活動・こんな取組みがあつたらしいな・女性部でできること」など5項目を、意見は否定しないなどグランドルールをもとに意見を出し合い最後はグループごとに発表を行いました。そして昼食のお弁当を食べた後は楽しみなビンゴゲーム、賞品の鉢花に笑顔がこぼれていました。

今日は初めての取組みでしたが、話し合いを進める中で互いに理解を深める交流会となりました。

終わりに、新型コロナウイルスの感染が国内で広がっています。皆様には十分に注意されてお過ごしください。

## あとがき

皆様のご協力によつて「中央支部だより」117号をお届けできることに感謝申し上げます。

いま新型コロナウイルスが世界中に拡散しています。拡散防止のため、休校やイベント中止、果てはマスクやトイレットペーパーの買い占めなど、その影響が日常生活にも及んでいます。手洗い、うがい、睡眠、食事で乗り切ろうと思います。